

## 紀の国森づくり基金活用方法に関する検討結果(案)に対するご意見と検討会の考え方について

- 1 意見募集期間 平成18年10月12日(木)から平成18年11月1日(水)
- 2 意見提出者数 13名(うち団体数2)
- 3 意見の概要と検討会の考え方 以下のとおり

紀の国森づくり基金活用検討会では、意見募集やアンケート調査等を行い、広く県民の意見を聞きながら基金の活用方法について検討を重ね、9月末に「紀の国森づくり基金活用方法に関する検討結果(案)」としてまとめました。

これを、より実効性の高いものとするよう、さらに県民の皆様から意見を聞き、議論を深めたうえで最終結果を取りまとめることとし、パブリックコメントを実施しました。

その結果、11名と2団体からご意見をいただきました。

皆様からいただきました貴重なご意見は、検討結果に反映させていただきます。

NO.	意見提出者住所	ご意見の概要	検討会としての考え方
1	和歌山市	<p>県民の意識をどのように向けるか。                      森林を守る必要性を、県民に知らせることが重要。                      県民のみならず、他府県の人にもアピールする必要あり。                      「森林を守る」ことによる「地域の活性化」を、県民に広く理解してもらうことが必要。</p>	<p>ご意見は検討結果(案)に盛り込んでおります。</p>
2	岩出市	<p>「紀の国森づくり税」に賛成。                      家族3人(知的障害者1名)で自然づくりに参加できますか？</p>	<p>「県民が幅広く参加できるよう」を文中に加筆しました。</p>
3	和歌山市	<p>①木の国としてのシンボルの森造成の提案                      ・植栽スペースと苗木を確保し、県民に植栽してもらう                      (こどもの入学や卒業、結婚等の記念の植樹に絞り、森の成長と郷土愛の醸成とを結びつける)                      ・植栽した苗木の生長の様子をホームページで公開</p> <p>②森林所有者に代わって第三者による森林再生事業の提案                      ・間伐未実施林の強度間伐、簡易な治山施設や補植                      ・植栽放置林での萌芽樹種の育成、広葉樹の植栽                      ・森林の再生が確認できるまでの期間、費用負担。森林所有者と協定締結                      ・NPO法人、緑化推進会、森林整備法人等が実施</p>	<p>具体的な事業提案であり、積極的な応募に期待します。</p>

4	日高川町	<p>里山の雑木の伐採を進め、里山に活力を取り戻すことへの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の50年生以上の雑木を伐採し、それを原料にして黒炭を作る</li> <li>・人里から30m幅で雑木林をベルト状に伐採し、イノシシ等が人里に近づけない状況を作る</li> <li>・また、そうすることにより山菜が採れるようになり、「森とあそぶ」にもつながる</li> <li>・里山を蘇らせるには、今が限度。「紀の国森づくり税」は時宜を得たアイデア</li> </ul>	<p>具体的な事業提案であり、積極的な応募に期待します。</p>
5	和歌山市	<p>3つの方向性は大賛成 子供達が体験できるように考えてほしい。その時にはお年寄りの活用を検討してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドングリなどの木の実や森にあるものを使った遊び</li> <li>・アケビなど山の中の食べられるもの(山の味の体験)</li> <li>・森を活かした昔の遊びの体験</li> </ul> <p>森の遊び場には、人工的な遊具は不要。子供達が自分で考えて遊べるように</p>	<p>「各世代が森で遊び、親しみ、交流できるよう」を文中に加筆しました。</p> <p>なお、その他のご意見は、検討結果(案)に盛り込んでおります。</p>
6	新宮市	<p>基金の活用方法は、それぞれ素晴らしいと思うが、総花的でその効果が明確になるのか少し危惧される。目に見えて結果が分かる使用方法を望む。</p> <p>例:木質バイオマス発電に対する初期投資 県内に1カ所、木質バイオマス発電プラントができないか</p>	<p>基金の活用試算(案)を示すこととし、より効果の高い事業から優先的に実施することが望ましいと考えます。</p>
7	印南町	<p>P5 (3) 基金活用の方向性 ア「紀の国の森とあそぶ・まなぶ」 「県民にとっては森林は身近な存在ではなくなっています。」とあるが、私たちは切り目川流域で大切な森林を守る活動を実施している。</p> <p>P6 イ「紀の国の森をつくる・まもる」 (イ)異分野の協働による森づくり 森・川・海が循環できる環境づくりが大切</p>	<p>循環型社会の形成は非常に大事と考え、検討結果(案)の中にも盛り込んでおります。なお、今後も地域の森林環境保全に努められるとともに、当基金への応募を期待します。</p>
8	和歌山市	<p>紀州材の利活用に関する調査研究、特に産学官連携の調査・研究への助成</p>	<p>ご意見は検討結果(案)に盛り込んでおります。</p>
9	白浜町	<p>P7 ウ (ア)の次に「既存木造施設の保存」の挿入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的、文化的価値の高い木造施設を保存(移築)し、そこを拠点に団塊の世代等が森林との距離感を縮めるための活動を実施する</li> <li>・そういう活動を通じ、木材の需要を拡大し、木材価格を上げて、林業経営が成り立つようにすることで森林の整備等を進める</li> </ul> <p>具体策:東陽中学校(田辺市)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①移築(そこを拠点に検討結果(案)に記載されているような活動を実施)</li> <li>②新校舎の木造化(机、イス、備品等も地元材で作成)</li> </ol>	<p>ご意見は、(4)実施方式のイ 事業提起型による応募を期待します。</p> <p>ただし、施設整備については既存事業もあり、個別の検討が必要と考えます。</p>
10	岩出市	<p>基金活用の方向性については異議はない 実施に際しての要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間数回の公募時期の設定</li> <li>・年度をまたがった事業の採択</li> </ul>	<p>基金の有効な活用のため、参考にすべきと考えます。</p>

11	和歌山市	<p>P2 3 和歌山県の森林の現状と課題</p> <p>和歌山市内の里山、防風林では、「ゴミ等の不法投棄」も目立つので追加記述を願う</p>	<p>「美化の面でも憂慮されるようなところが増えてきております。」を文中に加筆しました。</p>
12	海南市	<p>効果が県民の目に見えるような活用が大切</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒廃森林や竹林の整備及びそのための分布調査</li> <li>・森林の危機的状況の普及啓発</li> <li>・観光との連携 荒廃森林や手入れの行き届いた森林などの現況見学ツアー</li> <li>・和歌山大学観光学部との連携</li> </ul>	<p>ご意見は検討結果(案)に盛り込んでおります。特に、異分野との連携は重要と考えます。</p>
13	日高川町	<p>「森林環境の保全と目的」についての個人的考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林には、人に「生きようとする力」を与え、子供達にもいじめに負けない「生きる力」を育んでくれる</li> <li>・自然にはそういった「力」があると確信する。</li> </ul>	<p>「子ども達のやさしさや生きる力を育むため」を文中に加筆しました。</p>